

福祉サービス第三者評価受審施設アンケート結果
(平成31年3月実施)

1 アンケート実施概要

(1) 実施時期

平成31年3月

(2) アンケート対象

- ・ 前回アンケートを実施した平成28年3月以降に第三者評価を受審した施設
- ・ 対象施設数 47施設

(3) アンケート回答

- ・ 対象の47施設のうち30施設が回答。回答率64%。

〔 回答した30施設のうち、有効回答は29件。回答者及び送信元不明のため無効回答としたものが1件。 〕

- ・ 事業別の回答数は以下のとおり。【 】内は対象施設

社会的養護施設【12】			
児童自立支援施設【1】	母子生活支援施設【4】	児童養護施設【5】	乳児院【2】
1	3	5	2
			回答数合計 11
社会的養護施設以外【35】			
障害者支援施設【5】	障害福祉サービス事業所【5】	知的障害者通所更正施設【1】	知的障害者通所授産施設【2】
2	5	1	2
福祉型障害児入所施設【1】	保育所【15】	高齢者福祉サービス【6】	
1	3	4	
			回答数合計 18

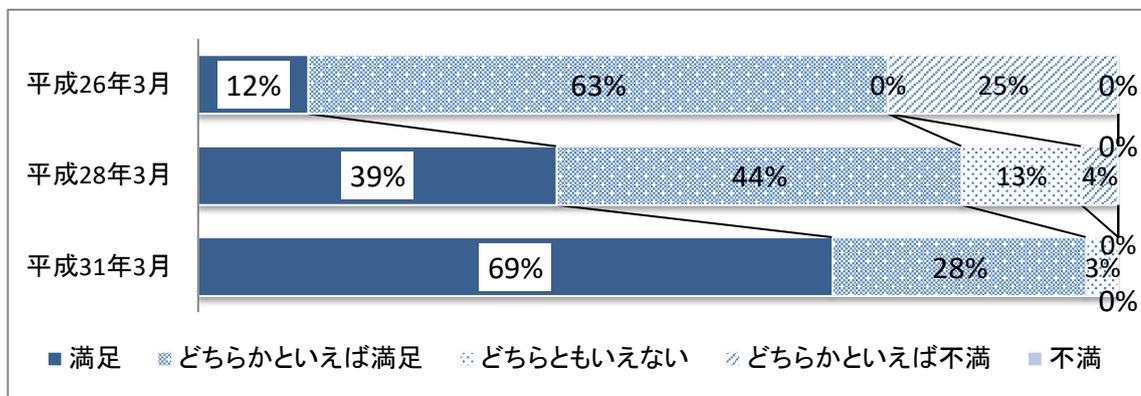
(4) これまでのアンケート実施経緯

No.	実施時期	対象施設数	アンケート回答	回答率
1	平成26年3月	9施設	8施設	89%
2	平成28年3月	24施設	23施設	96%

2 アンケート結果概要

(1) 第三者評価の受審全体の満足度

- ・前回調査より、「満足」と回答した施設の割合が増加した。



(2) 受審して良かったと思う点（主なもの）

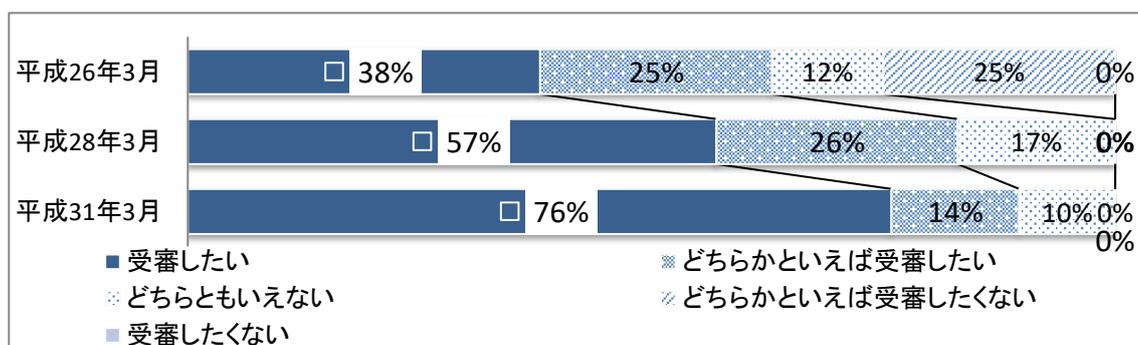
- 施設における「強み・弱み」「施設の役割」、「今後の計画」、「課題や改善点」、「職員間の考え方・認識の違い」が明確化した点
- 職員の「自覚」、「改善意欲醸成」、「自信」、「情報共有」につながった点
- 評価機関の担当者から色々と話を聞き、施設運営の参考になった点
- 自信をもって施設をアピールできることを認識した点

(3) 苦労した点・改善を望む点（主なもの）

- 評価に要する資料準備や取りまとめなどの事務負担が大きい点
- 長期にわたる聞き取りや調査の日程調整が大変な点
- 評価項目や質問内容が一部施設の実態に合っていない点
- 評価機関の調査員によって、当該施設に関する理解が不足している点

(4) 今後の受審希望

- ・前回調査より、「受審したい」と回答した施設の割合が増加した。



宮城県社会福祉課団体指導班 宛て

<添書は不要です。>

FAX：022-211-2594 E-mail：syahukd@pref.miyagi.lg.jp

※平成31年3月22日までにお送りいただくようお願いします。

福祉サービス第三者評価受審施設・事業所アンケート

福祉サービス第三者評価については、福祉サービスの質の向上及び福祉サービス利用者の選択に資する情報提供の充実を目的として、受審率の向上に取り組んでいるところです。

つきましては、本事業の普及啓発と受審促進に活用するため、福祉サービス第三者評価を受審いただいた施設・事業所の皆様を対象としたアンケートを実施いたします。お手数をおかけしますが、御協力くださるようお願いいたします。

なお、回答内容については、施設・事業所名を伏せて集計し、普及啓発等に活用させていただきますので、御了承願います。

問1 第三者評価を受審して満足されましたか。

※当てはまるものに ○ 印をつけてください。

満足 ・ どちらかといえば満足 ・ どちらともいえない
どちらかといえば不満 ・ 不満

問2 第三者評価を受審して良かった点をお書きください。

問3 第三者評価を受審して苦労した点や改善を望む点をお書きください。

問4 今後も第三者評価を受審したいと思いますか。

※当てはまるものに ○ 印をつけてください。

受審したい ・ どちらかといえば受審したい ・ どちらともいえない
 どちらかといえば受審したくない ・ 受審したくない

【その理由】

問4-2 これまでに第三者評価を複数回受審いただいた施設・事業所にお尋ねします。再受審を決めた理由をお書きください。 ※社会的養護施設を除きます。

問5 その他第三者評価を受審して感じたことや要望、御意見等がありましたらお書きください。

問6 第三者評価の受審を検討している施設・事業所に対し、受審を勧めるポイント（受審によって得られた、貴施設・事業所内での良い変化や改善が図られた点など）がありましたらお書きください（前段の回答と重複した内容でも結構です。）。

施設・事業所名	
記入者 職氏名	
連絡先（電話番号）	

御協力ありがとうございました。